

研究部だより

No.2 令和6年6月発行

研究主題

生涯にわたる豊かな学びを目指した授業づくり ~児童生徒の夢や願いを基点とした

「わかはとシステム」の活用~

夢や願いを授業に反映させるしくみ(つながりミーティングの紹介)

対話を大切にした面談から、児童生徒の夢や願いを明らかにした後、「つながりミーティング I」が行われます。ここでは全校職員が縦割りグループに分かれ、単元(題材)計画の構想や、子どもの変容の分析などを行います。2回目以降は、授業の進捗や生徒の変容などの状況について協議する場となり、授業を評価する機能を発揮します。こうして「つながりミーティング」は APDCAサイクルの中に位置付けられ、本校の授業づくりにおいて重要な役割を担っています。

「生涯学習力」の広がりや深まりのモデル			
人とつながる	なかまといっしょに	人とつながりをもとう・広 げようとしている	人とつながりを広げよ う・深めようとしている
情報を集める	見てみよう・聞いて みようとしている	見て聞いて調べようと している	経験を生かそうと している
試す	やってみようと している	考えて試してみようと している	挑戦し続けようと している
自分を知る	好きなことを知ろうと している	いろいろな自分を知ろう としている	なりたい自分を知ろう としている
「生涯学習力」を広げたり深めたりするための基盤【好奇心】【興味・関心】【夢中】			

わかはとモデル ~「生涯学習力」を見取る視点~

つながりミーティング [より (5月13日寒施)

1回目は、担任からの情報を基に、単元構想について協議します。縦割りグループのよさを生かした多様、多彩な意見に加え、行事や地域資源などとの関連についても検討する場となっています。今回は、各グループから話題になったことの一部を掲載します。

<中学部3年 生活単元学習についての協議より>

【構成メンバー】中3担任、中学部主事、研究部(中学部) 小学部職員2名、高等部職員2名 計7名

<概要説明>



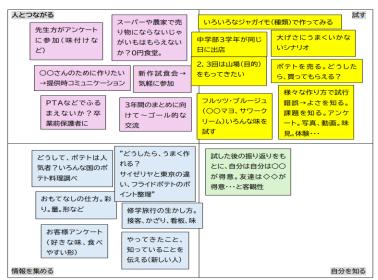
担任

- ・ 昨年、じゃがいもを使った調理をしたいという生徒の声から、栽培~収穫~メニュー考案という活動を展開し、校内外の人に振る舞う経験もしました。
- ・ 今年、修学旅行でポテト料理専門店に行きます。そこで新メニューの開発や接客に生かすことの できるものがないか、取材してくる予定です。



「わかはとモデル」の視点を意識しながら考えを付せんに書き、シート上に分類します。





これらの意見を年間指導計画や、個々の目標設定に 反映し、授業実践がスタートします。